

災害に強い 上下水道を 目指して



このたびの東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

宇都宮市上下水道局の施設は、震度6強の地震にも直接の被害を受けずに済み、市内ほとんどの地域で、安定した水道水の供給と下水道の処理を行うことができました。

しかし、停電などにより一部の市民の皆様には断水が発生し、ご不便をおかけしてしまいました。

今後は、今回の震災を教訓に、これまで行ってきた施設などの耐震化、応急給水拠点の整備や防災の取組みを活かし、さらに災害に強く安全安心な上下水道を目指して努力していきます。

ペットボトル飲料水を配布しました。



福島第一原子力発電所の事故により、3月24日、市内の水道水から、食品衛生法に基づく乳児の飲用に關する暫定指標値を超える放射性ヨウ素が検出されました。このため、市内在住の1歳未満の乳児がいるご家庭に対して、ペットボトル飲料水を配布しました。

応援給水を行いました。



今回の震災において、水道施設の被害が大きかった、那須烏山市、矢板市、那須町へ応援給水活動を行いました。

なお、上下水道局では(社)日本水道協会に加盟しており、災害が起きた際には応援給水や水道の応急復旧について、他の加盟都市と相互応援を行う体制を整えているほか、独自に近県3市(川口市・前橋市・水戸市)との相互応援協定や、宇都宮市管工事業協同組合との災害協定を結んでいます。



応援給水
活動へ出動



矢板市での
給水活動の様子

もし災害で断水になったら？

～3日分の飲料水を備蓄しよう!!～

大きな災害の際には、水道が使えず、給水車の到着までに時間がかかることも予想されます。災害時の備えとして家庭でも水を備蓄しましょう。

目安としては、『1人1日3リットルを3日分』備蓄することをお勧めします。

家庭でできる水の備え

① 水道水の上手な保管方法

- 容器** 清潔で口が閉められるもの（きれいに洗ったペットボトルなど。水は満タンに入れてください。）
- 保管場所** 直射日光の当たらない涼しいところ
- くみ替え時期** 3日程度（水道水の塩素による消毒効果は時間が経つにつれて減少します。期間が過ぎた水は、洗濯や庭木の水やりなどにご利用ください。）



② くみ置きのおすすめ

飲み水以外の生活用水として、くみ置きも有効な手段です。お風呂の残り湯などをすぐに捨てずにくみ置きしておくと、地震による火災発生時の初期消火やトイレなどの雑用水に利用できます。

配水管理センター 水質管理室 ☎674-1399

上下水道局の水の備え

! 断水時には、給水車により飲料水を避難所などにお届けします!

上下水道局では、市内の東西南北中央の計5か所に「応急給水拠点」を整備するとともに、市内中心部6か所の広域避難所に「耐震性貯水槽」を備えてあり、災害時に全市民7日分の飲料水が確保できる体制を整えています。

給水車出動の際には、上下水道局から「いつ・どこで給水を行うか」を、広報車、テレビ、ラジオ、ホームページなど、利用可能なメディアを通じて市民の皆さんへご案内します。

企業総務課 組織人事グループ ☎633-3241

安全な水道水のために 放射性物質と水道水



放射能は大丈夫?

上下水道局では、水道水中の放射性物質の測定を定期的に行っています。現在、放射性物質は国が示している暫定指標値を大幅に下回っており、乳児を含め飲用に支障はありませんのでご安心ください。

なお、測定結果はホームページにて随時公表しています。

▶▶▶ <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/josuido/news/>



配水管理センター 水質管理室 ☎674-1399